

建築基準法改正対応版 ASCAL に関するお知らせ

2007.5.24

(株) アークデータ研究所

構造計算書偽装事件を契機に建築基準法が改正され、6月20日から新しい確認申請制度がスタートします。これに伴い、現行の認定プログラムは、6月20日以降、すべて「非認定プログラム」の扱いになりますが、非認定プログラムとして確認申請を受けることはできます。

弊社では、「新告示」及び「新認定プログラム仕様」へ対応するための開発を行っており、「ASCAL Ver. 6」として6月末のリリースを予定しております。なお、構造計算概要書につきましても、引き続き開発を行ってまいります。詳細につきましては、改めてご案内いたします。

■新告示への主な対応内容

- ・ S 造に新設される計算ルート 1-2 に対応
- ・ 幅厚比の制限値が変更されたことへの対応
- ・ 耐震壁の開口による耐力低減率に開口の高さを考慮するように変更
- ・ 耐震壁の分担率が 50%を超えた場合に柱・梁の設計用応力を割増す処理を追加
- ・ 層間変形角算出に用いる階高を床スラブ間の階高に変更
- ・ 保有水平耐力 Q_u 算定時と必要保有水平耐力 Q_{un} 算定時を別々に指定できる機能を追加
- ・ RC 柱梁接合部が破壊するとき柱種別を FD にする処理を追加
- ・ RC 柱、梁のせん断破壊判定用割増係数をヒンジ発生状態により設定する機能を追加

■新認定プログラム計算書仕様への対応

- ・ 認定プログラム共通仕様のヘッダー及びフッターの出力
- ・ 計算書全体で通番としたページ番号の出力
- ・ 部材の剛性倍率の軸組図
- ・ 接合部、柱脚の検定値軸組図
- ・ 梁たわみ検定値図
- ・ 終局時支点反力図
- ・ 保有耐力計算用剛性、耐力直接入力部材の略伏図表示
- ・ 特殊荷重配置のリスト出力
- ・ 地震力計算用建物重量の部位別重量出力
- ・ メッセージの改良
- ・ 計算書へ入力データのエコープリントを出力

■新しい大臣認定プログラムの予定

大臣認定につきましては、新しい認定制度での大臣認定を取得する方向で作業を進めておりますが、現状では、プログラムの性能評価のための業務方法書や運用方法等、新しいプログラム認定制度の詳細が未だに確定していません。また、新しい大臣認定プログラムでは適用範囲や入力・計算条件などに制限がかかるため、実際に大臣認定プログラムを使用して確認申請に提出できる物件は少なくなることが予想されます。さらに、プログラムの変更には変更認定作業等が必要となるため、容易に機能追加や修正を行うことができなくなります。場合によっては、「大臣認定」が取り消しになり、確認申請業務が止まる可能性もあります。弊社では、認定制度の動向や上記のようなデメリット等を考慮して、新しい大臣認定プログラムの提供の仕方を検討しております。

なお、新認定プログラムのリリース時期につきましては、現時点では新しい大臣認定プログラムの性能評価の申請の受け付けも始まっておらず、ご案内できる状況にはありません。今後、新しい動きがあり次第改めてご案内いたします。